

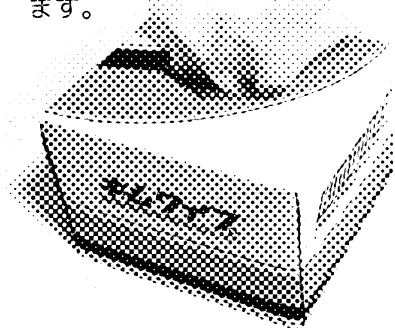


ガラス器具の拭き取りには  
繊維や塵が落ちにくい

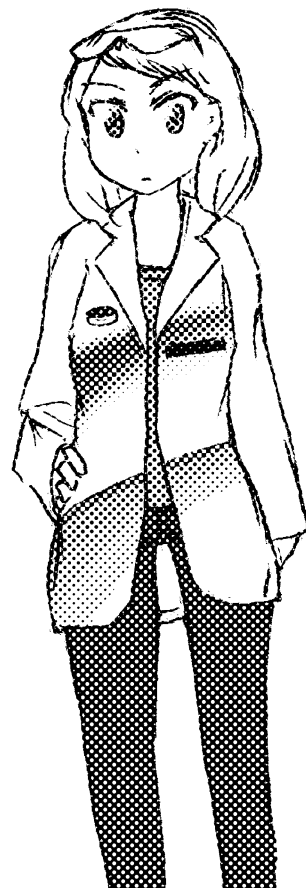


日本における、キムワイプは  
キンバリー・クラーク社とのラ  
イセンス契約のもと、日本製紙  
クレシア社が製造しています。

日本製紙クレシア社の前身と  
なる十條キンバリー株式会社は、  
1963年に十條製紙とキン  
バリー・クラーク社の合併によ  
り設立され、日本初のティッ  
シュペーパーを発売していま  
す。キムワイプも、1960年代  
からのロングセラーとなってい  
ます。

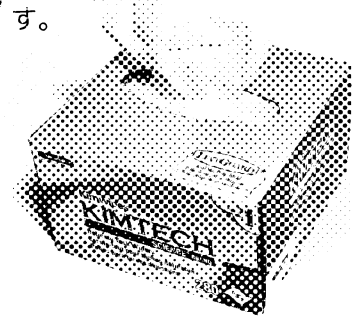


今日も実験器具の拭き取りは  
繊維や塵が落ちにくい



日本では直接目にすることが少ないキンバリー・クラーク社ですが、本社のあるアメリカ合衆国以外にも、世界中に工場を持ち、グローバルにビジネスを展開しています。そのため、キムワイプの箱も英語、フランス語、スペイン語の3言語で表記されています。

国際版のキムワイプは、日本版よりも柔らかできめの細かい紙質ですが、拭き取った後に繊維や塵が残りにくい点は同様です。



紙ウエスのほん  
どら饅頭屋 (@doramanjyu)

初版発行: 2017/04/09 @技術書典2

原材料:

キムタオル (表紙)

キムワイプ (本文)

ライセンス:

Creative Commons 表示 - 継承 3.0 非移植

Fork me on GitHub!

<https://github.com/doramanjyu/KimWipeFB>

